



Cisco IOS 音声ポート機能のロードマップ

このロードマップでは、音声ポートの設定を含む Cisco IOS 音声機能に関する情報を提供します。具体的な内容は、次のとおりです。

- 「プラットフォームおよび Cisco IOS ソフトウェアのイメージ」(P.1)
- 「Cisco IOS 音声ポートの機能リスト」(P.1)



(注)

この章では、Cisco Feature Navigator にアクセスする方法について説明します。また、Cisco IOS リリースごとに、そのリリースの音声ポート機能の一覧を表示し、説明しています。

フルセットの Cisco IOS 音声機能の詳細については、http://www.cisco.com/en/US/docs/ios/12_3/vvf_c/cisco_ios_voice_configuration_library_glossary/vcl.htm の『Cisco IOS Voice Configuration Library』を参照してください。ライブラリの序文、用語集、およびその他の資料も掲載されています。

プラットフォームおよび Cisco IOS ソフトウェアのイメージ

Cisco Feature Navigator を使用すると、プラットフォーム、Cisco IOS ソフトウェア イメージ、および Cisco Catalyst OS ソフトウェア イメージの各サポート情報を検索できます。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスします。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

Cisco IOS 音声ポートの機能リスト

表 1 に、Cisco IOS リリースごとの音声ポート機能の一覧を示します。特定のリリースで導入された機能は、そのリリースおよびそれ以降のリリースで使用できます。

表 1 Cisco IOS リリースごとの音声ポート機能

リリース	機能名	機能の説明	参照先
12.4(20)T	ソフトウェア設定可能な 128 ms のエコー キャンセレーション	Release 12.4(20)T 以降、ソフトウェア設定可能なエコー キャンセレーションのカバレッジが 80、96、112、および 128 ミリ秒を含むように拡張されました。デフォルト値は、64 ms から 128 ms に変更されています。	「エコー キャンセレーションの設定」、 「T1/E1 マルチフレックス音声/WAN インターフェイス カードでのハードウェアエコー キャンセレーションの設定」 、 「NextPort ベースの音声調整およびエコー キャンセレーション」
12.4(15)XZ	Cisco 880 シリーズ ルータの機能拡張	Release 12.4(15)XZ 以降、Cisco 880 ブロードバンド シリーズ ルータには VDSL2、3G などのアクセス テクノロジーが統合されています。サービス プロバイダーによって管理されたサービスや企業の在宅勤務者のために音声を追加されました。さらに、ブロードバンド シリーズ ルータでは、URL フィルタリングや、LWAPP を使用して管理できるオプションの IEEE 802.11n 統合アクセス ポイントなどの UTM 機能も提供されます。	「アナログ音声ポートの設定」、 「デジタル音声ポートの設定」
12.3(14)T	ハードウェア エコー キャンセレーション	2 つのエコー キャンセレーション モジュール (EC-MFT-32 および EC-MFT-64) は、VWIC2 での 128 ミリ秒のハードコードされた テール長を備えたハードウェア エコー キャンセレーションを提供します。	「 T1/E1 マルチフレックス音声/WAN インターフェイス カードでのハードウェア エコー キャンセレーションの設定 」
12.3(11)T	NextPort ベースの音声調整およびデュアル フィルタ G.168 エコー キャンセラ	Nextport デュアルフィルタ G.168 エコー キャンセラ (EC) は、ほとんどの環境において、比較的少ない残余エコーの漏出、より優れた非線形処理 (NLP) のタイミング、より少ないクリッピング、より優れたコンフォート ノイズ生成 (CNG) によって、VoIP 接続の音声品質を向上させます。	「 NextPort ベースの音声調整およびエコー キャンセレーション 」

表 1 Cisco IOS リリースごとの音声ポート機能（続き）

リリース	機能名	機能の説明	参照先
12.3(7)T	IP コミュニケーション高密度デジタル音声/ファクス ネットワーク モジュール	この機能は、高密度デジタル音声と低密度アナログ音声接続をデータ接続および統合アクセス接続とともにサポートします。ネットワーク モジュールには組み込みの T1/E1 ポートが用意され、FXS、FXO、E&M、ソフトウェア設定の CAMA、DID、BRI、または E1 および T1 カードのための 1 つの VIC/音声 WAN インターフェイスカード (VWIC) スロットが含まれています (最大 4 つの T1/E1 ポート)。このネットワーク モジュールでは、最大 32 個の HDLC チャンネルもサポートされており、総キャパシティは 2.048 Mbps になります。	「デジタル音声ポートの設定」
12.2(13)T	拡張された ITU-T G.168 エコー キャンセレーション	この機能により、エコー キャンセレーション パフォーマンスの標準が強化されます。設定可能なテール長は、最大 64 ms に増えています。最小 ERL は、0 dB、3 dB、または 6 dB 以上に設定できます。コンバージェンスが高速になるため、エコー抑制は必要なくなります。	「エコー キャンセレーションの設定」

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: www.cisco.com/go/trademarks. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

© 2007-2010, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

Copyright © 2007–2012, シスコシステムズ合同会社.
All rights reserved.

